

2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月6日

上場会社名 アクシアル リテイリング株式会社
 コード番号 8255 URL <http://www.axial-r.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原 和彦
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役執行役員 (氏名) 山岸 豊後

TEL 0258-66-6711

四半期報告書提出予定日 2019年8月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	57,615	0.9	2,286	12.2	2,335	11.7	1,568	13.1
2019年3月期第1四半期	57,079	1.2	2,037	2.3	2,091	1.4	1,385	3.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 1,347百万円 (15.5%) 2019年3月期第1四半期 1,594百万円 (5.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	67.50	
2019年3月期第1四半期	59.37	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	100,712	58,051	57.6	2,519.35
2019年3月期	100,474	59,082	58.8	2,531.13

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 58,051百万円 2019年3月期 59,082百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		20.00		52.00	72.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		20.00		52.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	118,500	0.1	4,700	0.8	4,800	1.2	3,200	2.5	138.81
通期	237,000	0.7	8,400	11.8	8,500	12.4	5,600	12.9	242.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	23,388,039 株	2019年3月期	23,388,039 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	345,743 株	2019年3月期	45,693 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	23,230,966 株	2019年3月期1Q	23,342,515 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

この四半期決算短信に記載されている業績予想等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、この四半期決算短信【添付資料】5ページ「1 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

目 次

	頁
目次	1
1 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(四半期連結損益計算書)	8
(四半期連結包括利益計算書)	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する事項)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(会計処理の変更)	11
(会計上の見積りの変更)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報)	12
3 補足情報	14
(1) 生産、受注及び販売の状況	14

文中における将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の連結子会社）が判断したものであります。

なお、将来に関する事項につきましては、不確実性を有しており、将来生じる結果と異なる可能性がありますので、記載しております事項に対する判断は、以下記載事項及び本項目以外の記載内容も合わせて慎重に行われる必要があります。

当社グループは、スーパーマーケットの経営を事業主体としており、店舗「原信」「ナルス」「フレッセイ」を各地に出店しております。

1 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済における貿易摩擦の懸念が長期化の様相を呈し、先行きの見通せない状況が続いております。

このような状況において、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結経営成績は、売上高が576億15百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益が22億86百万円（前年同期比12.2%増）、経常利益が23億35百万円（前年同期比11.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が15億68百万円（前年同期比13.1%増）となりました。また、1株当たり四半期純利益は67円50銭となりました。

売上高につきましては、堅調に推移し増収となりました。営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、事業の中心であるスーパーマーケット事業について、前年同期は、店舗の大規模改装に伴う諸経費の発生があったものの、当第1四半期連結累計期間は、新規出店、店舗改装がなく、営業費用が前年同期に比べ減少した結果、いずれも前年同期を上回る結果となりました。

当第1四半期連結累計期間における各セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。なお、各セグメントの業績値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

① スーパーマーケット

(全般)

当社グループでは、年度方針を前年度に引き続き「変革への挑戦」と定め、変化を続ける社会において、必要とされる存在であり続けるための様々な施策と、それを実現するための強固な企業構造の構築を進めております。

また、イノベーション推進部を新設し、改革や革新への取り組みを組織的に推進する体制を整え、中期計画に沿って、様々な課題への取り組みを進めております。

(販売指標に関する動向)

<客単価、買上点数、一品単価>

お客様のご期待に沿える商品、サービス、接客に向けた継続的なレベルアップの取り組みに加え、5月のゴールデンウィークが10連休になったこと等が影響し、既存店の買上点数は、前年同期に比べ0.5%増加いたしました。また、既存店の一品単価は、前年同期に比べ0.7%増加いたしました。

この結果、既存店の客単価は、前年同期に比べ1.3%増加いたしました。

<来店客数>

梅雨らしい気候となり、前年同期に比べ、降雨が多く気温が低めに推移し、お客様の来店頻度が減少したため、来店客数は、既存店では前年同期に比べ1.3%減少し、全店では前年同期に比べ0.4%減少いたしました。

<売上総利益率>

商品販売における売上総利益率は、前年同期と同様の25.8%となりました。

(プロセスセンターの活用拡大)

前連結会計年度に新潟県長岡市に新設した食品の集中加工を行うプロセスセンターは、当初の計画どおり軌道に乗っており、当第1四半期連結会計期間から、農産・畜産・水産・惣菜加工品だけでなく、ベーカリー商品についても、供給する品種、範囲を拡大いたしました。原信、ナルス、フレッセイが、全体で共有する体制が順調に進んでおり、一層高い水準での商品の均質化や新たな商品のご提供を図ってまいります。

(出店・退店等)

出店、改装、退店につきましては、いずれも該当ありません。

(業績)

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるスーパーマーケット事業の売上高は574億58百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は21億57百万円（前年同期比14.6%増）となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の営業状況は、次のとおりであります。

項目		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	前年同期比
店舗数	グループ合計	129店舗	増減なし
	内訳 (原信)	65店舗	1店舗増加
	(ナルス)	14店舗	増減なし
	(フレッセイ)	50店舗	1店舗減少
店舗売上高	全店	54,321百万円	100.8%
	既存店	52,955百万円	100.0%
来店客数	全店	2,696万人	99.6%
	既存店	2,633万人	98.7%
客単価	全店	2,015円	101.2%
	既存店	2,011円	101.3%
買上点数	全店	11.0点	100.5%
	既存店	11.0点	100.5%
一品単価	全店	182円	100.7%
	既存店	182円	100.7%

- (注) 1 店舗数は、当第1四半期連結会計期間末現在におけるスーパーマーケットの設置店舗数であり、他業態の設置店舗数（100円ショップ4店舗）は含みません。
 2 店舗売上高、来店客数、客単価、買上点数、一品単価は、スーパーマーケット店舗のみの数値であります。
 3 客単価は、お客様一人当たりが一回のご来店でお買い上げになった金額の平均であります。
 4 買上点数は、お客様一人当たりが一回のご来店でお買い上げになった商品数の平均であります。
 5 一品単価は、お客様がお買い上げになった商品の一品当たり金額の平均であります。
 6 店舗売上高、客単価及び一品単価に消費税等は含まれておりません。
 7 既存店は、店舗開設より満13か月以上を経過した店舗であります。

② その他

(清掃事業)

主力であるスーパーマーケット事業向けの販売は、安定した受注を受け前年同期に比べ増加いたしました。一方、外部顧客向けの販売は、若干、前年同期を下回りました。この結果、売上高は前年同期に比べ3.1%増加し、営業利益は前年同期に比べ6.3%増加いたしました。

(情報処理事業)

主力であるスーパーマーケット事業向けの販売は、情報機器の需要増で増加いたしました。また、外部顧客向けの販売は、受注案件を順調に確保し増加いたしました。この結果、売上高は前年同期に比べ14.3%増加いたしました。営業利益は人件費の増加により前年同期に比べ24.7%減少いたしました。

(印刷事業)

主力であるスーパーマーケット事業向けの販売は、安定した受注を受け前年同期に比べ若干増加いたしました。また、外部顧客向けの販売は、販路の拡大に努め若干増加いたしました。この結果、売上高は前年同期に比べ2.6%増加いたしました。営業利益は原材料費の価格上昇により前年同期に比べ41.0%減少いたしました。

(業績)

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるその他の事業の売上高は12億32百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は1億32百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

当第1四半期連結会計期間末における連結財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比べ2億38百万円増加し1,007億12百万円、総負債が前連結会計年度末に比べ12億68百万円増加し426億60百万円、純資産が前連結会計年度末に比べ10億30百万円減少し580億51百万円となりました。また、1株当たり純資産額は2,519円35銭となりました。

(総資産)

流動資産は226億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億96百万円増加いたしました。これは主に、四半期決算日の曜日回りの関係により、営業債務の未決済残高が増加したため、現金及び預金が増加したことによるものであります。なお、流動資産の構成比は前連結会計年度末に比べ0.5ポイント増加し22.5%となりました。

固定資産は780億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億57百万円減少いたしました。その内容は次のとおりであり、固定資産の構成比は前連結会計年度末に比べ0.5ポイント減少し77.5%となりました。

有形固定資産は607億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円減少いたしました。これは主に、減価償却によるものであります。

無形固定資産は21億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ6百万円減少いたしました。これは主に、減価償却によるものであります。

投資その他の資産は152億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億77百万円減少いたしました。これは主に、保有する投資有価証券の時価総額が減少したことによるものであります。

(総負債)

流動負債は284億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億43百万円増加いたしました。これは主に、四半期決算日の曜日回りの関係により、営業債務の未決済残高が増加したこと及び運転資金の調達による短期有利子負債の増加によるものであります。なお、流動負債の構成比は前連結会計年度末に比べ1.3ポイント増加し28.2%となりました。

固定負債は142億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円減少いたしました。これは主に、長期有利子負債の減少によるものであります。なお、固定負債の構成比は前連結会計年度末に比べ0.1ポイント減少し14.2%となりました。

(純資産)

株主資本は566億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億9百万円減少いたしました。これは主に、剰余金の配当12億13百万円を行ったことに加え、取締役会決議による自己株式の取得を行い、自己株式が前連結会計年度末に比べ11億63百万円増加したことによるものであります。

その他の包括利益累計額は14億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億20百万円減少いたしました。これは主に、保有する投資有価証券の時価総額が減少したことによるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.2ポイント減少し57.6%となりました。

② キャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間末における連結キャッシュ・フローは、現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）が前連結会計年度末に比べ9億74百万円増加し118億43百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フロー別の状況を示すと、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は38億94百万円となり、前年同期に比べ7億76百万円増加（前年同期比24.9%増）いたしました。これは主に、曜日回りの関係による営業債務の未決済残高の増加及び経常利益の増加によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は14億2百万円となり、前年同期に比べ17億66百万円減少（前年同期比55.8%減）いたしました。これは主に、前年同期において、店舗の改装及び食品の集中加工を行うプロセスセンターの新設に係る設備投資を行っていた反動によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は15億16百万円（前年同期は、得られた資金が6億22百万円）となりました。これは主に、取締役会決議による自己株式の取得を実施した結果、自己株式の取得による支出が増加したこと及び短期有利子負債の純増加額が減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

【第2四半期連結累計期間】

売上高1,185億円（前年同期比0.1%増）、営業利益47億円（前年同期比0.8%増）、経常利益48億円（前年同期比1.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益32億円（前年同期比2.5%増）を見込んでおります。

【通期】

売上高2,370億円（前年同期比0.7%増）、営業利益84億円（前年同期比11.8%減）、経常利益85億円（前年同期比12.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益56億円（前年同期比12.9%減）を見込んでおります。

【上記予想の前提条件】

売上高につきましては、主たる事業であるスーパーマーケット事業において、競合状況の変化に加え消費税増税の影響等を勘案し、既存店売上高は通期で前年同期比1.1%の減少を見込んでおります。一方、全店売上高は新規出店店舗の増収効果を踏まえ前年同期比0.7%の増加を見込んでおります。

営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、各種商品で原料原価や物流コスト、人件費の増加に伴う値上げが見込まれること、消費税法改正に伴う競争激化への対応、並びに、関連諸費用及び投資の発生を見込んでいるため、前年同期に比べ、それぞれ10%以上の減少を見込んでおります。

【第2四半期の業績予想に対する第1四半期の実績の進捗状況等について】

第1四半期累計期間の実績値は、当初の想定に概ね沿ったものであり、現時点で業績予想の修正はありません。なお、第2四半期累計期間の業績予想に対する第1四半期累計期間の実績の進捗状況は以下のとおりであります。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
第2四半期予想 (A)	118,500	4,700	4,800	3,200	138.81
第1四半期実績 (B)	57,615	2,286	2,335	1,568	67.50
進捗率(%) (B)/(A)	48.6	48.7	48.7	49.0	48.6

【注意事項】

この四半期決算短信に記載されている業績予想等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は既知及び未知のリスク、不確実性及びその他様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、当社グループが認識している事業等のリスクにつきましては、当社の有価証券報告書をご参照ください。

2 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,870	11,845
受取手形及び売掛金	1,656	1,483
リース投資資産	930	901
商品及び製品	4,661	4,713
仕掛品	17	28
原材料及び貯蔵品	304	312
未収還付法人税等	325	512
その他	3,361	2,827
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	22,119	22,615
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,694	32,372
機械装置及び運搬具（純額）	851	810
土地	21,555	21,311
リース資産（純額）	2,780	2,715
建設仮勘定	405	1,168
その他（純額）	2,551	2,386
有形固定資産合計	60,838	60,764
無形固定資産		
2,109	2,109	2,102
投資その他の資産		
投資有価証券	3,649	3,346
長期貸付金	16	16
繰延税金資産	3,078	3,286
敷金及び保証金	7,667	7,584
その他	1,043	1,043
貸倒引当金	△48	△48
投資その他の資産合計	15,407	15,229
固定資産合計	78,354	78,096
資産合計	100,474	100,712

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	15,156	15,602
短期借入金	—	1,200
1年内返済予定の長期借入金	392	132
リース債務	400	388
未払法人税等	1,681	961
ポイント引当金	93	96
役員賞与引当金	399	119
賞与引当金	1,817	2,411
その他	7,122	7,497
流動負債合計	27,065	28,408
固定負債		
長期借入金	42	23
リース債務	3,316	3,225
資産除去債務	5,211	5,194
長期預り保証金	5,256	5,299
役員退職慰労引当金	40	41
退職給付に係る負債	255	266
その他	203	200
固定負債合計	14,326	14,252
負債合計	41,391	42,660
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,159	3,159
資本剰余金	15,749	15,749
利益剰余金	38,580	38,935
自己株式	△59	△1,223
株主資本合計	57,430	56,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,575	1,358
退職給付に係る調整累計額	76	72
その他の包括利益累計額合計	1,652	1,431
純資産合計	59,082	58,051
負債純資産合計	100,474	100,712

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	57,079	57,615
売上原価	40,879	41,230
売上総利益	16,200	16,385
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	91	96
従業員給料	2,194	2,237
雑給	3,915	3,912
役員賞与引当金繰入額	115	119
賞与引当金繰入額	821	814
役員退職慰労引当金繰入額	1	1
退職給付費用	202	231
地代家賃	1,300	1,321
減価償却費	975	956
のれん償却額	0	—
貸倒引当金繰入額	0	0
その他	4,544	4,408
販売費及び一般管理費合計	14,162	14,098
営業利益	2,037	2,286
営業外収益		
受取利息	14	13
受取配当金	34	34
受取保険金	20	5
その他	9	15
営業外収益合計	78	69
営業外費用		
支払利息	19	17
その他	4	3
営業外費用合計	24	21
経常利益	2,091	2,335
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産売却損	0	10
固定資産除却損	35	2
減損損失	1	0
特別損失合計	37	12
税金等調整前四半期純利益	2,054	2,323
法人税、住民税及び事業税	798	876
法人税等調整額	△130	△120
法人税等合計	668	755
四半期純利益	1,385	1,568
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,385	1,568

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,385	1,568
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	213	△217
退職給付に係る調整額	△5	△3
その他の包括利益合計	208	△220
四半期包括利益	1,594	1,347
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,594	1,347
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,054	2,323
減価償却費	1,036	1,035
減損損失	1	0
のれん償却額	0	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	2	2
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△316	△280
賞与引当金の増減額 (△は減少)	537	593
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1	1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△10	5
受取利息及び受取配当金	△48	△48
支払利息	19	17
固定資産売却損益 (△は益)	0	9
固定資産除却損	35	2
売上債権の増減額 (△は増加)	86	172
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△166	△70
仕入債務の増減額 (△は減少)	585	445
未払又は未収消費税等の増減額	10	370
リース投資資産の増減額 (△は増加)	32	29
その他	1,042	923
小計	4,902	5,533
利息及び配当金の受取額	35	35
利息の支払額	△16	△14
法人税等の支払額	△1,803	△1,660
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,117	3,894
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△0	△0
有形固定資産の取得による支出	△3,091	△1,565
有形固定資産の売却による収入	0	141
無形固定資産の取得による支出	△205	△53
貸付けによる支出	△3	△3
貸付金の回収による収入	2	2
その他	128	75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,169	△1,402
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,200	1,200
長期借入金の返済による支出	△339	△277
リース債務の返済による支出	△111	△104
自己株式の取得による支出	△0	△1,167
配当金の支払額	△1,125	△1,167
財務活動によるキャッシュ・フロー	622	△1,516
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	570	974
現金及び現金同等物の期首残高	12,135	10,868
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,706	11,843

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する事項)

当第1四半期連結会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(会計処理の変更)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

重要な会計上の見積りの変更はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

	報告セグメント		その他 (百万円)	合計 (百万円)
	スーパー マーケット (百万円)	計 (百万円)		
売上高				
外部顧客への売上高	56,881	56,881	198	57,079
セグメント間の内部売上高又は振替高	38	38	943	982
合計	56,920	56,920	1,141	58,062
セグメント利益	1,883	1,883	148	2,032

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理事業、清掃事業、印刷事業等を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

	報告セグメント		その他 (百万円)	合計 (百万円)
	スーパー マーケット (百万円)	計 (百万円)		
売上高				
外部顧客への売上高	57,414	57,414	201	57,615
セグメント間の内部売上高又は振替高	43	43	1,030	1,074
合計	57,458	57,458	1,232	58,690
セグメント利益	2,157	2,157	132	2,290

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理事業、清掃事業、印刷事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

利益	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
報告セグメント合計	1,883百万円	2,157百万円
「その他」の区分の利益	148百万円	132百万円
セグメント間取引消去	10百万円	2百万円
全社費用	△206百万円	△206百万円
その他の調整額	201百万円	200百万円
四半期連結損益計算書の営業利益	2,037百万円	2,286百万円

(注) 1 セグメント間取引消去は、主にセグメント間の固定資産売買によって生じた未実現利益に係る調整であります。

2 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社(持株会社である当社)に係るものであります。

3 その他調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社(持株会社である当社)に対する経営指導料支払額の消去であります。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

前第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
該当事項はありません。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）
重要な影響を及ぼすものではありません。

当第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
重要な影響を及ぼすものではありません。

3 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 販売実績

(単位 百万円、%)

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		前年同期比			
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	比率		
ス ー パ ー マ ー ケ ッ ト	生 鮮 食 品	青果	7,932	13.7	8,001	13.6	69	100.9
		精肉	6,389	11.0	6,312	10.7	△77	98.8
		水産	5,475	9.4	5,551	9.5	75	101.4
		惣菜	5,371	9.3	5,512	9.4	140	102.6
	計	25,169	43.4	25,378	43.2	208	100.8	
	加 工 食 品	デイリー	11,306	19.5	11,444	19.5	137	101.2
		加工食品	14,812	25.5	14,897	25.4	84	100.6
		インスタアベーカー	901	1.5	927	1.6	25	102.9
	計	27,020	46.5	27,268	46.5	247	100.9	
	住居	1,805	3.1	1,775	3.0	△29	98.4	
衣料品	30	0.0	28	0.0	△2	93.4		
その他	49	0.1	51	0.1	1	103.6		
営業収入	2,805	4.8	2,911	5.0	105	103.8		
セグメント間の内部売上高又は振替高	38	0.1	43	0.1	4	112.9		
小計	56,920	98.0	57,458	97.9	537	100.9		
そ の 他	外部顧客への売上高	198	0.4	201	0.3	3	101.5	
	セグメント間の内部売上高又は振替高	943	1.6	1,030	1.8	87	109.2	
小計	1,141	2.0	1,232	2.1	90	107.9		
合計	58,062	100.0	58,690	100.0	628	101.1		

② 仕入実績

(単位 百万円、%)

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		前年同期比			
	仕入高	構成比	仕入高	構成比	金額	比率		
ス ー パ ー マ ー ケ ッ ト	生 鮮 食 品	青果	6,184	15.0	6,191	14.9	7	100.1
		精肉	4,722	11.5	4,880	11.8	158	103.3
		水産	3,975	9.7	3,964	9.6	△10	99.7
		惣菜	3,212	7.8	3,264	7.9	52	101.6
	計	18,094	44.0	18,301	44.2	206	101.1	
	加 工 食 品	デイリー	8,433	20.5	8,544	20.6	111	101.3
		加工食品	11,802	28.7	11,796	28.5	△5	99.9
		インスタアベーカー	420	1.0	411	1.0	△9	97.9
	計	20,655	50.2	20,752	50.1	96	100.5	
	住居	1,421	3.5	1,348	3.3	△72	94.9	
衣料品	18	0.1	17	0.1	△1	93.4		
その他	52	0.1	11	0.0	△40	21.9		
リース原価	32	0.1	29	0.1	△2	90.9		
セグメント間の内部仕入高又は振替高	45	0.1	53	0.1	7	116.1		
小計	40,320	98.1	40,513	97.9	193	100.5		
そ の 他	外部取引先からの仕入高	727	1.8	821	2.0	93	112.8	
	セグメント間の内部仕入高又は振替高	64	0.1	68	0.1	4	106.4	
小計	791	1.9	889	2.1	97	112.3		
合計	41,111	100.0	41,402	100.0	290	100.7		

(注) セグメント間の内部取引高を含めて表示しており、消費税等は含まれておりません。